

消化管の病理を勉強しようと思い立ち、中村恭一先生のもとで大腸癌の診断、組織発生・発育進展について研究したのは30数年も前のことです。欧米主導の大腸癌の組織診断基準に問題があることを指摘した中村先生が新たに提案した癌組織診断基準は大きな波紋を広げ、大腸癌の組織発生・発育進展過程の熱い議論が交わされたことが懐かしく思い出されます。

そのような中、1988年にVogelsteinらによって遺伝子異常が蓄積する大腸癌の多段階発癌モデルが提唱されています。その後組織形態による検討がやり尽くされていくのに対して、分子生物学的研究はMSI、DNAのメチル化などさまざまな成果が明らかにされ、飛躍的な進歩を続けています。癌組織発生・発育進展もさまざまな経路があることが明らかにされています。大腸腫瘍の分子生物学に関する知識を臨床医も身につけておかねばならない時代になったといえます。

また私的な古い話になりますが、病理医になる前は地方の病院で外科の研修をしていました。はじめての受持ち患者さんは大腸進行癌の末期であり、患者さんを前にして、まったく無力であったことが今も思い出されます。ところが近年では、分子生物学に基づいた有効な化学療法や分子標的治療が成果をあげるようになり、予後の向上が望める時代になってきました。かつての状況がうそのようです。今後この分野はますます進歩することが望めますが、治療の適否を決めるためにも分子生物学を十分理解しておく必要があります。

本号では大腸腫瘍の分子生物学について、基礎的な事項を含めてさまざまな角度から分子異常の解説をしていただきました。さらには分子生物学を踏まえた化学療法や分子生物学の課題と展望について解説いただいています。さまざまな分野の読者の方々が大腸腫瘍の分子生物学を理解するうえで役立つ一冊であり、大腸癌の診断、治療に関する最新の知識を学んでいただければと思います。

大倉 康男

(PCL JAPAN 病理・細胞診療センター川越ラボ)

INTESTINE

Vol.22 No.5

©2018年9月20日発行

定価(本体2,850円+税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・Published by Nihon Medical Center Inc.

©2018, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64(協和ビル)

営業直通電話(03)3291-3901(代)FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代)FAX(03)3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541